

「サヨナラダケガ人生ダ」

勸 酒 于武陵	井伏鱒二訳
勸君金屈厄	コノサカヅキヲ受ケテクレ
満酌不須辞	ドウゾナミナミツガシテオクレ
花発多風雨	ハナニアラシノタトヘモアルゾ
人生足別離	「サヨナラ」ダケガ人生ダ

唐代の詩人于武陵が友人との別れに臨み詠んだ漢詩を『黒い雨』『山椒魚』で有名な井伏鱒二が訳した有名な一節だ。すべての人間に共通して、唯一外れない予言は、「全ての人はいつか死ぬ」ということだ。一方いつ、どこでそうなるのかということは誰にも予測できない。ただ、そのことに怯えていても仕方がない。全ての人にはそれぞれにその使命があるから、今こうしてそこに命が預けられている。その使命に気付ければ幸いで、今すぐには気付けないことがほとんどだ。そして、その使命を探す道のりこそが人生だと言える。中山彩花さんには、君たちに「命の意味」を教える本当に重要な使命があったと思いたい。

だからこそ、自分の命を、今この一瞬を大切にしよう。

一方、離任式でお世話になった先生方が本校から去ることになった。先生方のますますのご活躍を祈るとともに、その先生方の本校への思いをしっかりと受け止めて、姫路別所高校の学校文化を改めて築いていこう。出会いがあれば別れがある。別れがあれば出会いがある。

「人生の全てに意味があるから」(アンジェラ・アキ『手紙～拝啓十五の君へ』) →



過去の選択の積み重ねが今の自分

これまでの人生でいくつの選択をしてきただろう。数えるのは不可能だ。全ての人が毎日、一瞬一瞬、常に選択を積み重ねている。例えば、点滅しそうな信号を前にして、道路を「渡るか、渡らないか」などの小さな選択があれば、どの高校に出願するかといった人生の上で重要な選択もある。そうして積み重ねてきた選択が君たちをこの姫路別所高校に導いて、今こうしてここにいるご縁をいただいた。

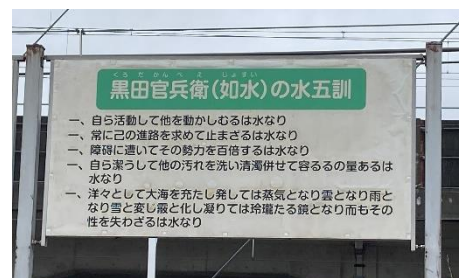
選択には、大きく分けて「①一瞬で判断しなければならない日常的なもの」と「②じっくり考えて結論を出す重要なもの」がある。時には「③一瞬で判断しなければならない重要なもの」もあるから厄介だ。②ならば、誰かと相談したり、いろいろと情報を集めてじっくり検討することができる。一方、①や③は、判断する瞬発力が必要だ。

その選択を行う判断基準は、「(1)自分のこれまでの経験」、「(2)他の誰かの経験」に拠らなければならない。「(1)自分のこれまでの経験」は数も少なく、未経験のことにはなかなか対処できないかもしれない。だから、積極的にいろいろな経験を積むことがこれから求められる。一方、「(2)他の誰かの経験」の場合は、信頼できる人の話を聞くことも大切だが、それ以上に本を読むことで得られる知見が大切だ。信州大学准教授で天文物理学者のB o s s Bさんは、その著書『宇宙思考 (かんき出版)』のなかで、「現実をより正確に見たかったら、脳のデータを増やして多視点を養う。」ことが大切だと述べる。「現実をより正確に見」ということは、正しい判断ができることとほぼ同意義だと考える。一瞬の判断力は、「脳のデータを増やして多視点を養う」ことから齎(もたら)されるとするならば、その努力を怠らないことが大切ではないか。勉強、読書、経験、挑戦、失敗、成功…。それは、②にも必ず役に立つ。

黒田官兵衛の水五訓Ⅱ

水五訓その二「常に己の進路を求めて止まざるは水なり」:

物事を進めていこうとすると障害や壁が現れることがある。そんな時も、自らが努力して乗り越えようとするのが自分の力になっていくということを伝える。挑戦する時には、覚悟を決めて「自ら考えて道を拓こうとすること」が大切で、周りの所為にするのではなく、失敗したら工夫する。その工夫こそが人を成長させるし、“We keep on trying.”挑戦し続けることが人を成長させる。誰もがみな最初は初心者で、失敗もするのだから、恐れる必要はない。



<御着駅、図書館駐車場の看板> ↑

We keep on trying. 挨拶日本一の高校・遅刻ゼロの高校に私たちはなる 文責：姫路別所高等学校長 篠原 歩